



令和2年度 卒業生 泉谷 朋くんが… “ニュース zero” の取材

「支える世代の悩みを伝える ドウスル？」を受けました。

4月から近畿大学病院で看護師として頑張っています。

世間は、「コロナ」の話題が多く、情報に錯綜することも多いなか、皆さんへ前向きなエールをいただきました。



「卒業生 泉谷くんインタビューしました!!」

①ニュース zeroの取材を受けて欲しいと言われた時の正直な気持ちは？

正直な気持ちでいうと、本当に自分でいいのかと思いました。実際、勉強ができたわけでもなく、実習でも自分の中では上手くいっていないことばかりでしたので、取材を受ける資格があるのかどうか悩みました。でもせっかくテレビに出る機会でもあり、「学校への恩返し」というのもあれですが…学校のためになればと思いを承しました。



近畿大学附属看護専門学校卒
泉谷 朋さん(22)



②国家試験前に何度も取材の準備をディレクターさんとやりとりしている時の気持ちは？

お話をいただいてから実際にディレクターさんとお話するまで少し時間があり…実感が湧かなかったのですが、日々やりとりをしていくなかで取材を受けるという緊張感と、国家試験に受からないと色々な人に迷惑をかけてしまうというプレッシャーが大きくなってきて個人的に弱い部分ができました。ディレクターさんが優しく応援のメッセージもくださったので、何とかメンタル的には保てたのですが、誰にもテレビ出演とかの話もしていなかったのが「己」との戦いみたいになってました (笑)



名字が狭山さんで
下の名前が福太郎さん

③撮影（取材）当日の気持ちは？ その日、一番感動したことは？

取材当日の気持ちとしては、早く受けたいなと思いました。

人と話すことが好きな性格もあり、同じ境遇で頑張っている人達と対談形式で話をするのができ、いい刺激になると思っていました。

実際に始まってみると「嵐の櫻井さん」が出てきたので、気持ちがそれどころじゃなかったですけど（笑）

当日一番感動したことは「櫻井さん」と話せたことですけど、それより感動したことは放送を観た時でしたね。

自分自身が話したことが実際に「全国放送」され、ネットでの反響も凄かったと友達やディレクターさんから言われて話したことが相手に伝わっているのだなと思いました。



④看護師になり、近畿大学病院に就職した今

♡後輩へのメッセージ♡

看護師を目指したいと思ったとき、実際に看護学校に入学してから様々なところでリアリティショックを感じて辛い、しんどいと思うことがあります。

実際に働き始めて現場に出てみると、たしかに改めてリアリティショックを感じることはありますが、目標としていた看護師になり働いている自分はとても充実して過ごしています。今、頑張っていることは無駄にはなりません。

しんどい、つらいと思う時はあると思いますが、踏ん張り所だと思って頑張ってください。努力は必ず結果を出してくれます。一人で抱え込まず、相談できる人に相談し、これからも頑張ってください。ともにこれからも頑張っていきましょう。



泉谷君へ

元気に頑張っていますか？

インタビューは、何度観ても感動です！

また、元気な顔を見せてくださいね。

在校生・教職員一同応援しています♡

